

# 旅産業

地域資源を活かした  
新しい観光を考える

## 実践講座

vol.2

### 温泉療養プログラムを実践 「健康づくり大学」開催

森林を核として、温泉・食農といった地域資源を活用した「健康への旅」に取り組んでいる飯山市。昨年には、市内4か所の温泉（斑尾高原温泉・戸狩温泉・いいやま北竜温泉・湯滝温泉）の泉質・効能などを調査し、森林や食農と相乗効果を生み出す「温泉療養プログラム」を構築しました。

その実践の場の1つとして今回、社団法人 民間活力開発機構が実施する健康づくり大学が10月21日、斑尾高原で開催されました。

健康づくり大学は、自治体と同機構が連携し、全国各地の温泉地で行われています。泉質、自然環境、食材、運動施設、文化環境といった地域の資源を最大限活用し、温泉療養を構成する入浴、食事、運動、環境といった療法を組み合わせたプログラムを開発・実践し健康づくりに役立てようというものです。

今回は市民を始め、約80名が参加。1泊2日のプログラムで温泉・森林ウォーキング・アロマセラピーなどの講義と、温泉入浴・森林ウォーキング・太極拳などの実技のほか、出される食事も健康食と、健康づくりのプログラムとなりました。



△アロマセラピー講座の様子。アロマセラピー（Aromatherapy 芳香療法）の名のとおり、ヨーロッパなどでは医学に用いられるほど、健康との結びつきが強い

### 春から実施の講習がすべて終了

#### 森林セラピーの宿とガイドを認定

来年4月からの森林セラピー基地グランドオープンに向け、お客様を迎えるにあたり欠かすことのできないのが、宿やガイドといった「担い手」。

飯山市森林セラピー協議会では、今年の春から森林セラピーの「宿」と「森の案内人」認定のための講習を行っていましたが、すべての講習が終了。宿は29施設が、案内人は市内外の約40名が認定されました。グランドオープン後は、森林セラピーを支える大きな役割を担っていきます。

なお、同協議会では来年以降も「宿」および「ガイド」の認定を継続していく予定です。

お問い合わせは、市役所観光課（☎ 3111）までご連絡ください。

⑤『相原求一朗展 大地への慈しみ』ギャラリートークの様子



## 美術館情報

### 常設展示

郷土にゆかりのある画家の絵画作品を展示

- 入館料：大人300円、市内の小・中学生は入館無料（引率、同伴の方を含む）。
- 開館時間：9:00～17:00（入館は16:30まで）
- 休館日：毎週月曜日
- 飯山市美術館 ☎ 1501

## 利融通情報 ～不用品の交換～

### ◆譲ります（無料）

- ☞ファンシーケース① ☞ドレッサー② ☞介護用ベッド（電動式）①
- ☞ベッドマット（シングル）① ☞オイルヒーター① ☞1人用ソファー①
- ☞ハイベッド① ☞ベビーベッド①

### ◆譲ります（有料）

- ☞二段ベッド①（5000円）

### ◆譲ってください（無料）

- ☞電話機（プッシュ式）① ☞チャイルドシート① ☞ベビーカー①
- ☞子供用自転車（補助輪付）① ☞風呂釜① ☞二段ベッド① ☞シルバーカー（老人カー）①

### ◆譲ってください（有料でも可）

- ☞除雪機② ☞耕運機① ☞自転車（前かご付・24インチ）①

※希望される方は、生活環境室（電話 62-3111 内線 192）までご連絡ください（掲載期間は6か月間です）。掲載の品物の登録者をご紹介しますので、当事者間で交渉をしてください。なお、品物の引き渡しに生じた問題は当事者間で解決してください。

※マタニティ・子育て用品の無料リサイクルを常時行っています。ご希望の方は、下記まで直接連絡してください。

●連絡先…「つまようじ」石塚 薫 ☎ 67-2564

（有料化に伴い、1月から掲載を控えさせていただきます。）

▼市役所は11月から組織の一部を改革。10月31日には、関係職員が事務室の引越しや、庁内案内板の修正作業などに追われました。▼庁舎内の案内板などの修正はすべて職員による手作業。プロの業者に作ってもらった元の看板にできるだけ近づけようと、試行錯誤をしながら作業を進めていました。▼県でも11月から組織が変わったそうです。「県民にわかりやすい名前を」と、これまでの「チーム」「ユニット」といった組織が「課」「係」に変わりました。▼飯山市に新しくできた「いいやま住んでみせん課」。わかりやすいこの名前を見て、少しでも移住を希望する方が飯山に興味を抱いてくれると思います。二ノ宮

## 編集後記